

滝 善

## チーズ染めの新会社設立

### 事業譲受し供給網を強固に

尾州産地の糸商、滝善(愛知県一宮市)はこのほど、チーズ染め

6月から業務を開始した。取引先の糸染め企

業の事業を

譲り受け、サ

プライチャ

ーンを強固

にした。新

会社では二

ツト糸だけ

でなく、織

けなど異分

野の開拓を

進める。

チーズ染

めの市川染

工場(同)

の譲渡を受



市川染工の工場

の新会社、市川染工(新潟県五泉市)を設立し、このほど、チーズ染め

6月から業務を開始した。取引先の糸染め企

業の事業を

譲り受け、サ

プライチャ

ーンを強固

にした。新

会社では二

ツト糸だけ

でなく、織

けなど異分

野の開拓を

進める。

チーズ染

めの市川染

工場(同)

の譲渡を受

けた。市川染工場は新型コロナウイルス禍を機に経営環境が悪化する中、事業継続や従業員の雇用維持のためスボンサーを模索。同社の最大の取引先だった滝善に持ち掛け、今回の事業譲渡に至った。

新会社の資本金は5

00万円で、社長には

滝善の滝宏明専務が就

いた。滝氏は「もともと

市川染工場とは40年ど

う長い付き合いがあ

った。事業を譲り受ける

ことでサプライチャ

ーンを維持し、長い目で

見たらときに滝善として

も持続的な商売ができる」と考えた」と話した。

市川染工場は190

年創業の老舗で、横編みなどの衣料向けに糸を編み立てて色の確

かし、天然繊維から合

織までの幅広い素材を

染められる。年商は5

億円ほど。同社の市川

正人社長は新会社で顧

問に就いたほか、従業

員40人と各種設備もそ

のまま引き継いだ。

生産量は年間500

トンで、最大で一千トンの

生産能力がある。保有

設備は高圧チーズ染色

機44台(釜の大きさ2

×5.60mまで)、常圧

チーズ染色機3台(同

100~200kgま

で)、高圧チーズ乾燥機

6台(同100~200

kgまで)のほか、後巻きのワインダーランプをそろえる。

強みは品質・生産管

理力だ。チーズ染色特

有的の色違いを抑えるた

め、染色後にボビンに

新会社では二ツト向けだけではなく、織物向けや衣料以外の資材向けなどの拡大を狙う。滝氏は「滝善と市川染工場は共に100年企業。経験と知見が生まれ出し、次の100年に向けて精進していく

4年創業の老舗で、横編みなどの衣料向けに糸を編み立てて色の確かし、天然繊維から合織までの幅広い素材を染められる。年商は5億円ほど。同社の市川正人社長は新会社で顧問に就いたほか、従業員40人と各種設備もそのまま引き継いだ。

生産量は年間500

トンで、最大で一千トンの

生産能力がある。保有

設備は高圧チーズ染色

機44台(釜の大きさ2

×5.60mまで)、常圧

チーズ染色機3台(同

100~200kgま

で)、高圧チーズ乾燥機

6台(同100~200

kgまで)のほか、後

巻きのワインダーラン

プをそろえる。

強みは品質・生産管

理力だ。チーズ染色特

有的の色違いを抑えるた

め、染色後にボビンに

巻かれた内側と外側のある両社がグループになることでシナジーを

みたい」と意気込